

市民保養所「やちほ」・八ヶ岳府中山荘の現状整理



府中山荘⇔やちほの位置関係

施設名	機能
市民保養所「やちほ」	①姉妹都市交流
	②市民の保養
八ヶ岳府中山荘	③林間学校
	④市民の保養

施設が有する機能とニーズの整理

- ・ 姉妹都市交流機能については、現に実施している交流事業（春・秋の友好訪問バスハイク、郷土芸能派遣など）の際の宿泊施設として利用している。
- ・ 林間学校機能については、距離が近い、全児童が収容可能（アレルギー対応等の容易さ）、貸切利用による人的安全性という点から、現に実施しているセカンドスクールの要件は満たしている。
- ・ 保養機能については、市民アンケートの結果から、アクセス性、客室・施設が良いこと、料理が良いことや温泉があることが求められているのに対し、現状、これらを満たす機能は備えていない。



これらの課題を踏まえた
機能・サービスの見直し
が必要

- ・ いずれの施設も老朽化が進行しており、稼働率が低下する中で、平成29年度においては、2施設の維持に約1億5,000万円を負担している。なお、稼働率については、他市と比較しても高い施設ではない。
- ・ 施設を維持していくためには、早急な大規模改修が必要となる。今後、2施設を築60年まで維持していくためには、毎年平均して、約2億5,700万円を負担しなければならない。
- ・ ニーズに合わせた保養機能を付加するためには、各施設のハード・ソフトともに見直しが必要となり、さらに費用負担が大きくなる可能性がある。
- ・ 市民アンケートの結果、「やちほ」を利用したことがある人は全体の17.4%、府中山荘を利用したことがある人は19.3%で、また、今後も利用したい公共施設のうち、宿泊施設は20.6%という結果であったことから、市民ニーズは高くない。